

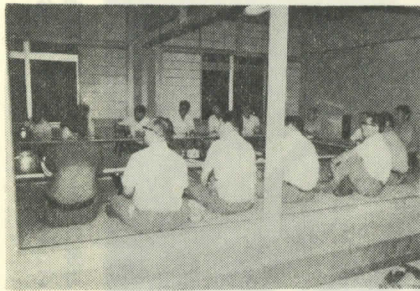
◇ うでの過信は事故のもと

交通安全は先ず職場から

職場運転管理者講習会開かる

村内各職場の運転管理者に、自ら交通安全の範を示してもらおうと、和泉村交通安全協会では八月二十二日大野署小西交通課長を講師に招き、職場運転管理者講習会を開きました。

法規の改正や、交通安全の現状の説明のほか、あとを絶たない無謀運転の



この子たちに 愛の手を
この人たちに

九月は精神薄弱者愛護月間です

県内には、およそ八千名の精神薄弱(知恵おくれ)のある人たちがおります。近年この人たちのための教育や福祉対策は進められています。子供さんの施設四・大人の施設三があります。昭和四十八年度から「精神薄弱者の終生安住の総合施設」が建設されます。

また学校にいけない子どものために四十八年十月から県立の養護学校が開

多いこと、または法規違反に対する罰金の額や、違反者の罰金の支払方法など実例を挙げて説明され、交通安全の重要性を再認識しました。

写真は熱心に交通安全の説明を聞く職場運転管理者の皆さん

校されます。

学校から、在宅児のために家庭訪問、指導も実施されています。

各地区で健康な赤ちゃんづくり運動が行なわれていますが妊娠中とか出産時の事故・幼児期のひきつけなどが原因で障害児となるのです。妊娠中の便秘によるガス中毒が、やわらかい胎児の脳を障害するので、ぜひ注意して下さい。二才になってもあるかないかことばが、でてこない場合、早く歩く訓練や話しきかせることが大切です。こうしたことで心配のおありの方は、早く相談して下さい。

◎相談は住民課へ

借しくも三位に

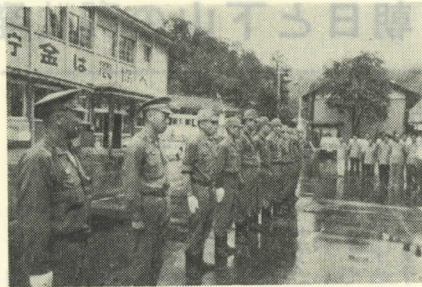
県消防操法大会

「消防団員の模範的な消防操法技術の向上と士気の昂揚を図り、もって消防活動の発展充実に寄与することを目的」として、去る八月五日(土)午前九時から武生市市体育館前広場において第二十一回福井県消防操法大会が行なわれました。本村からは第五分団(中竜)が出場し、日頃の訓練とチームワークと消防精神を充分に発揮し優秀な成績をおさめられました。

なお、消防操法要員は次のとおり

- 指揮者 宮 腰 輝 男
- 一番員 荒 木 信 彦
- 二番員 小 田 喜 三
- 三番員 曾 根 雄 次
- 四番員 島 崎 正 意
- 補 欠 森 本 安 幸

写真、役場前の壮行会の一コマ



これだけは
ぜひ用意しよう

台風シーズンに備えて

- ◆ 災害は忘れた頃にやってくる。といわれています。今年も台風シーズンがやってきました。あの恐怖の伊勢湾台風や四〇・九、三大風水害の記憶を思い起し、次のことに注意しましょう。
- ◆ ラジオ・テレビなどの台風情報を気をつけてききましょう。
- ◆ 家の周辺の側溝など常に清掃し、水の流れをよくしておきましょう。
- ◆ 停電に備えて、懐中電灯、ガス灯、ロソク、トランジスタラジオ等を用意しましょう。
- ◆ 非常用に備えて、下着、救急医薬品、簡易携帯食糧二・三食分、水筒など

準備しておきましょう。

◆ クギ、金づち、むしろ、カップ、長ぐつなば何時でも間に合うよう取揃えておきましょう。

◆ ダムの水がふえ山原ダムなどダムを越すことがあります。

総合グラウンド発注

川合の「白馬像前」に

村民が自由に使用できるグラウンドは数年来の要望であったが、このほど川合下もの、丁度国道一五七号線が朝日橋をカーブして鷺ダムへ上る馬蹄形の内側(約二六、〇〇〇㎡)で、整地と排水工事が主体となっています。完成すると、朝日中学校グラウンドの二倍半近くなり、ソフトボール競技でも完全に二コートがとれます。これからは高志関係の各種大会など対外試合の会場にも使用できるので、関係者は十一月完成に期待をかけています。

県道の改良を早急に

「県政広聴のつどい」

県政に対する現地で、なま(生)の声を、と県広報課が八月二十二日、本村



で「県政広聴のつどい」を開きました。県から広報課長を始め和泉村に關係の深い土木、株業などの課長のほか、県出先の長ら十四名が来村され、本村から村民約七〇名が出席し、県政に対して、嶺南のような県の観光施設を本村に作ってほしい。小河川にも治山治水工事をしてほしい。通称県道石徹白線、同大納線、同伊勢線の早期整備をお願いしたい。国道の馬返し隧道、油坂隧道などの計画はどのように、など具体的な質問や要望をするなど、午後二時から五時までの予定時間ぎりぎりまで積極的な、しかも中味のある話し合いです。

なお県では、これらの質問などを分解して、後日回答することになっております。

伝染病に気をつけよう

九月は台風、豪雨と一年のうちでもいやな月です。特に気をつけたいのは気候の変わり目や、豪雨災害のあとに起りやすい伝染病です。

次の事項に充分注意するよう望んでいます。

- 一、井戸水、水道を問わず「なま水」は飲まない。
- 二、食べ物は、なるべく火を通す。
- 三、食事前、用後は必ず手を洗う
- 四、便所、下水溝には石灰粉末をまく。
- 五、下痢や熱のある場合は、すぐ医師の診断を受け正しい治療をする

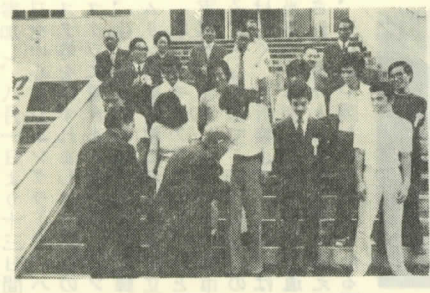


村挙げてお祝い

真夏の成人式

老若男女を問わず、一年中で一番楽しい「お盆の里帰り」を更に意義あるものにしようにと、三年目を迎えた「お盆の成人式」は去る八月十五日午前十時から役場議場を開放して行なわれました。

新成人二十五名のうち、十人が集まりましたが、中学卒業以来始めてといった成人者もあり、杉本村長や北議長等の「おめでとう、これからも大いに頑張ってください」と激励の言葉に全員で「これからは成人として責任ある行動をとります」と誓いの言葉を述べました。このあと、記念写真をとり、交換会が開かれ懐かしい入道に囲まれて限らない喜びを分かちあいました。



村長、議長から握手を受ける新成人者

明正選挙

投票と結婚

結婚は選挙で一票を投ずるようなものではない。結婚の方は、何年かたてば改選できるような取りきめには

明るく正しい選挙 (3)

なっていないが……

村でも町でも、国の政治でも、この人にこそ、と、きめて投票するとき、「私はこの人と結婚するのだ」と、ひそかに心の人をきめるのと同じ気持ちならなければウソだと私は思っています。「その人の名はいえませんが……」しかし、この人が私達の幸福をつくってくれる人だという。確信とよろこびをもって、みんながその人の名を投票用紙に書くようにならないものだろうか私の村、いや日本の政治をよくするために、たった一人の自分の相手をきめるために……

こんな気持ちで一票を投ずれば「結婚前には、あんなにわたしにやさしかったのに……」なんて涙の後悔はしないですむと思います。その人が（いや、立候補者が）一票をもらってしまえばあとは知っちゃいない、ということもなくなると思います。

みんなの消費生活展開

10月4日～8日まで
毎日前10時～後18時まで

福井放送会館で
あすの暮らしのために!!をテーマにみんなの消費生活展が、福井放送会館で十月四日から八日まで開かれます。展示内容は次のとおりです。

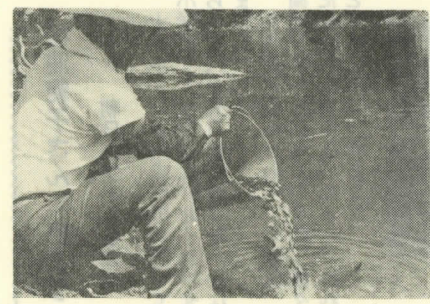
- ▼物価高に挑戦!!めじろ押しの上上げ攻勢、しわ寄せを受ける家庭。住まの移りかわり。
 - ▼汚染された世界!!食品汚染、大気汚染。
 - ▼過大包装!!商品の中味の正直に伝えない表示や包装。
 - ▼余暇の有効な活用!!生産人間から遊び人間へ。
 - ▼くらしの家計!!家計の合理化と生き甲斐ある生活の設計。
- このほか、実演や、映画、講演会も

計画されています。くわしくは、村企画室か直接放送会館へお尋ね下さい。

へらぶな六万尾が元気にダムへ

奥越漁業協同組合

奥越漁業協同組合では、このほど、へらぶな四〇〇〇〇尾を九頭竜ダムへ、一〇、〇〇〇尾づつを山原ダムと石徹白ダムへそれぞれ放流しました。約三cmに成長したへらぶなは元気にダムの岸辺に泳いでいきましたが、来年秋頃には約二〇cmの成魚として食卓をにぎわすことでしょう。

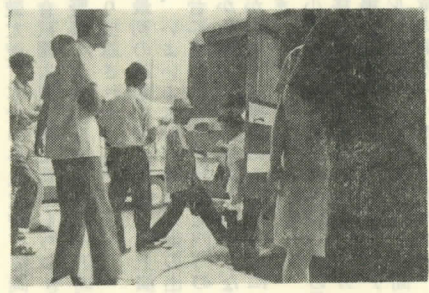


へらぶな元気に九頭竜ダムへ

あなたは健康に自信ありますか

移動保健所開かる

「私は絶対健康だ」これは中年の小太りした方の自画自賛の弁ですが、やっぱり生身のからだです。健康な時にこ



検診車(きぼう号)に入る受診者

そ充分注意して健康保持につとめたいものです。去る八月二十四日～二十五日開かれた移動保健所は、今までと多少異なり受診された方の数は前回とは少なく約二五〇名でしたが、中年の方が割り合いに多く、いわゆる「成人病検診」の理想的傾向に関係者をよるこばせました。

No.54 **カキヤジ** 山みみのる

全まなももの
美交
カケン
料 300
金

月の話題

鞭声 肅々 (9月9日)
霜軍営に満ちて (9月13日)

永祿四年(一五六一)八月十四日、春日山城をうって出た上杉謙信は、千曲川を渡り、妻女山に布陣、総兵力一万六千。

急を聞いて、武田信玄が川中島に着したのは八月二十四日、その兵力は一万八千だったという。

両軍は、千曲川をへだててにらみあい続けたが、こらえかねた謙信が行動を開始したのが九月九日。「鞭声肅々夜河を渡る……」と、のちに頼山陽が詠んだのはこの時の情景である。十日の払暁から白兵戦に移ったが、雌雄決せず引き分けに終わった。

また、天正五年(一五七七年)の九月十一日には、能登七尾城を陥し上杉謙信は、越えて十三日の夜、城中で将士とともに、折からの中秋の名月を賞したという。秋とはいえ北陸の能登はすでに霜がおりて、夜空にわたる雁の群れが、月をかすめて過ぎてゆく。「霜軍営に満ちて秋気清し……」の詩は、このときの謙信の感懐を詠じたものである。

ながつき (九月)

九月のことを和名では、長月(ながつき)といいます。旧曆になおすと十一月頃に当たり、夜が長くなる月であるところから、この呼び名があるようです。このほか、玄月授月、朽月などの異名もあります。

September
9月

選ぶ目が伸びゆく地方自治



谷 秀明君

!! 青年に国境なし!!

「訪ソ青年の船」に参加して

日ソ両国の友好と親善のため、福井県外九県一市が派遣した訪ソ青年の船に参加し、八月一日より十三日間モスクワを中心にレニングラード、ハバロフスク等を訪ねました。三日の夕方モスクワに着きました。赤いレンガの壁、生い繁る木々の上に金色に輝くレムリン宮殿を前に赤の広場に立った時「私は今モスクワにいる。」と初めて実感がわきました。ソ連の都市造りはみごとなもので、車は少ないのに道路は広く、左折禁止で（日本では右折に当る）立体交差や地下横断歩道が整備され、青々とした街路樹が植えてあり、辻公園や美しい公園がいたる所に



交 歓 風 景

あり、一日の勤めを終えた人々や老人恋人たちが憩っておりました。パチンコ屋や飲み屋はなく、またネオンサインも数える程しかなく、街灯は特に明るく静かで、夜遅くまでたくさんの方が歩いておりました。交通は地下鉄、トロリーバス、二台連結のバスが主になっています。特に、地下鉄は立派なもので、地下七〇メートルを走り、エスカレーター

◇ 追い越すな わずかな違いだ 急がずに

第24回県民体育大会は、本村からも四種目に総勢五十七名が参加、競技の栄光と郷土の名誉のため大いに奮闘されました。

野球は、一回戦勝山市と対戦、延長戦に入り八回裏一点を入れられた勝山市チームに5対4で破れました。ソフトボールは、第一回戦は今立郡に17対8で快勝しましたが、二回戦は大会優勝の大野市チームに9対6で惜敗しました。

松浦範子さんに続こう

朝日小プールも完成

大納小プール完成に引き続いて朝日小学校プール開きは、おくれればせながら去る八月五日炎天のさなかな行なわれました。

深さ約八〇cmという、小学校、幼稚園向きに作られたプールに、満々とたたえられた澄みきった水へ、われ先にと飛び込んでいきました。

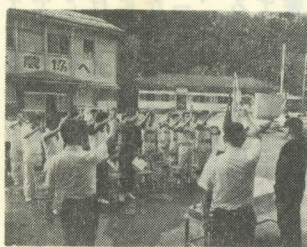


ハシヤギまわる子供たち

第24回 県民体育大会終わる

ソフトボールなど善戦

参加することに意義があるといわれますが、競技はやはり勝ちたいもの、



県体選手の結団式

日本リズム太鼓まつり

亀山で大歓迎

昇竜太鼓が出場

ことしも去る八月五日、三重県亀山市において、中部日本新聞社主催の日

本リズム太鼓まつりが開催され、本村の観光紹介を兼ねて昇竜太鼓が出場、当日夜七時から情緒あふる、亀山城下に設けられた特設舞台で開演されました。



昇 竜 太 鼓

この日、出場した太鼓は、亀山市の葛葉太鼓、山車はやし、愛知県の茶臼坊太鼓、木村の昇竜太鼓、福岡県の小倉祇園太鼓、富山県のもちつき太鼓、長野県の大野太鼓の順に延々五時間に亘り披露されました。

最初の葛葉太鼓から順々に上演されて、いよいよ本村の昇竜太鼓の出番、舞台上に現われるや参集した四万の大観衆から期せずしてあらしのような大拍手が起り、興奮のるつぼの中に始まりました。

小手調べの青葉太鼓から本命の昇竜に移るや、拍手と掛声がリズムミカルに会場を動かし「アンコール」「アンコール」など叫ぶ声もあちこちに聞こえ昇竜太鼓の一パチさばきの妙技は、しばし、大観衆を魅了し、他の太鼓を完全に圧倒していました。

人のうごき

【出生】 山下 早苗 利夫 二女
村上 ときよ子 長政 二女

【死亡】

朝日 西屋 さく 六九才
上大納 吉田 敏江 二五才
角野 川端 をて 七一才

あとがき

活字のおそろしさ

若い時分からの悪いくせで、一冊の本を終りまで読みとおすことがなかなかできなくて、すぐ放り出してしまいうわゆるツンドク「積んでおく」ばかりだけれど、たまに思いついて読んでみると、前に気がつかなかった新しい発見をすることがある。活字になって残っているということは私のような横着者にはたいへん都合のいいことで、活字のありがたさを思うわけだが、反面広報の編集という、原稿を活字にしておくり出す仕事をしていると思うことは、なんともいっても活字をあつかうことのこわさである。編集しているからには、すこしでも読みやすいものを作らなくては、集まった原稿に句読点をつけてくわたり、時には文章の前後を入れかえたりすることがあるわけで、点のつけ方一つで文のニュアンスが変わったり、意味が多少ちがってしまふこともある。人から注意もされ、自分でも気をつけてはいるのだが、いままでも編集をしてきたなかで、深意を読みとれないままに適当に点を入れたり、正確な活字にできなかったことがないともいえない。毎月一回の編集の時期ごとに、活字にしておくり出すというこの仕事のおそろしさを思っているものである。

【婚姻】

上大納 〔木戸〕 則文 男子
上大納 〔浜田〕 陽子 男子
朝日 〔野尻〕 よう子 男子
大野市 〔滝本〕 陽子 男子